

第1学年1組 道徳学習指導案

指導者 西谷京子

研究テーマ	言語活動を大切にした道徳の時間の指導
-------	--------------------

1 テーマについて

言語活動の充実が各教科等全体で図る主な改善事項の第一に示された。道徳の時間も同様であり、学習指導要領の第3「指導計画の作成と内容の取扱い」には「自分の考えを基に、書いたり討論したりするなどの表現する機会を充実し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できるように工夫すること」を配慮事項として明記し、言語活動の充実を求めている。

そこで、自分自身との対話や友達との対話が深まるような学習の形態の工夫（自己と対話する一人の形態、少人数で話し合うグループの形態、全員で話し合う全体の形態）を手立てに、書いたり討論したりする言語活動を重視した道徳の授業に取り組みたいと考え、本テーマを設定した。

2 主題名 個性を磨く 1－(5)

3 ねらい

自己を見つめ、考え、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして意欲的な生き方を追求しようとする態度を養う。

4 資料名 「トマトとメロン」

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目1－(5)は、「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。」ことをねらいとしている。中学生の時期は、自己理解が深まり、自分なりの在り方や生き方についての関心が高まるため、現実の自分と内面の自分に葛藤し迷いが生じやすいときである。そのため、自分の姿を自らの基準に照らして考えたり、他の人との比較においてとらえたりするために、その至らなさに思い悩むことも少なくない。

そこで、この時期に、個性を生かした生き方を認め、よさを伸ばし、足りないところを他に学ぼうとする態度を育てることは、「よりよい生き方」を意欲的に求めていくうえで大切であると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態 (男18名、女15名、計33名 平成22年5月22日実施)

1 あなたは自分が好きですか。 ・好き 8名 ・どちらかといえば好き 19名 ・あまり好きでない 4名 ・好きでない 2名
2 あなたは自分の長所をいくつあげられますか。 ・5個以上 3名 ・3～4個 17名 ・1～2個 11名 ・なし 2名
3 あなたは自分と他の人を比べて喜んだり落ち込んだりしたことがありますか。 ・ある 33名 ・ない 0名
4 あはたは自分の考えや行いが他の人と異なっていたとき、自分の主張を通すことができますか。その理由も書きましょう。(複数回答可)
できる 4名
・自分の考えは大事にしたいから 2名
・自分は自分だから 2名
できない 29名
・違っていたら恥ずかしい 15名
・目立ちたくない 10名
・自信がない 9名
・何か言われそう 4名
・めんどろうだから 2名

入学してから1か月半が過ぎた本学級の生徒たちは、中学校生活にだいぶ慣れて校内の諸活動に積極的に取り組む様子が見られる。

アンケートの結果を見ると、自分のことを「好き、どちらかといえば好き」と答えている生徒が8割、多い少ないはあるにせよ自分の長所に気づいている生徒が9割おり、自己肯定感が育っているように伺える。しかし、一方で、自分と他の人を比べてしまう傾向が強く、自信のなさや恥ずかしさなどを理由に、自分を表現することに対して消極的な生徒が多いことがわかる。

(3) 資料について

本資料は、「トマトとメロン」を題材にした詩であり、「人それぞれがもっている固有のよさを認め、精一杯生きることが大切なのだ」と考える作者である相田みつを氏の人間味あふれる主張が展開されている。そこで、本授業では、まず「自分と他の人を比べること」に対する作者の指摘に気付かせいく。そして、さらに、「どう生きよ」と作者が言っているのかについて生徒一人一人が考える時間と互いの意見を確かめ合う時間とを十分に確保することで、自己の内面に目を

向けて一歩でも二歩でも前向きに自分を信じて進んでいこうとする姿勢を引き出していきたい。

6 展開

学 習 活 動	予想される生徒の反応	指導上の留意点及び評価
<p>1 「自分のよさはどんなところか」言葉にしてみる。</p> <p>2 資料「トマトとメロン」を読んで話し合う。</p> <p>(1) なぜトマトとメロンを比べてもしょうがないのでしょうか。</p> <p>① 全体で考える</p> <p>(2) 比べられたトマトとメロンはどんな気持ちでしょう。</p> <p>㊦ ①自分の考えを書く。 ②全体で話し合う。</p> <p>(3) 他の人と自分を比較してしまうのはなぜでしょう。</p> <p>㊦ ①自分の考えを書く。 ②グループで話し合う。 ③全体で話し合う。</p> <p>(4) この詩を通して、相田さんはわたしたちに「どう生きたらいい」といっているのでしょうか。</p> <p>㊦ ①自分の考えを書く。 ②全体で話し合う。</p> <p>3 自分の生活について考える。</p> <p>①自分の考えを書く。 ②発表し合う。</p> <p>4 教師の話聞く。</p>	<p>・明るいところ。 ・真面目なところ。 ・走るのが速いところ。 ・字が上手なところ。 ・ない。</p> <p>・種類が違う。 ・味が違う。 ・値段が違う。 ・栄養価が違う。 ・もともと違うものなのだから比べないでほしい。 ・比べられたら嫌だ。 ・しょうがない。</p> <p>・他の人が優れてみえるから。 ・自分に自信がないから。 ・いつも比べられることが多いから。 ・負けたくないと思うから。</p> <p>・自分に自信をもって生きていこう。 ・互いのよさを認めよう。 ・一生懸命生きているのだから比べることはしなくてよい。 ・トマトとメロンにそれぞれよさがあるように人間もそれぞれによさがある。</p> <p>・自分のよいところを伸ばしていきたい。 ・もっと自分の個性を主張していこう。 ・自分も他の人のよいところも大切にしていきたい。</p>	<p>・前日に課題として用紙を渡しておく。 ・「自分で考えて」「他の人に聞いてみて」の両面からの発表とする。 ・「ない」とする意見もとりあげる。</p> <p>・生徒の考えをたくさん取り上げる。 ・指名発表とする。</p> <p>・トマトとメロンにたとえているのは、人間のことであることを確認し、自身に置き換えを図るようにする。 ・話合いの前に自分の考えをワークシートに書いてまとめることで、全体の話合いの充実につなげる。 ・自分の考えをワークシートに書く、グループで意見交換を行う、全体で話し合うといった学習の流れを大切に、たくさんの意見が出るようにする。 ・一人一人違って当たり前なのに、つい他の人を意識し比較してしまう人間性があることに気付くようにする。 ・話合いの前に自分の考えをワークシートに書いてまとめることで、全体の話合いの充実につなげる。 ・「人はみんな一人一人に大切な価値がありよいところがある。よきに目を向けて一生懸命に生きよう」と言っているところをとらえる。</p> <p>・これまでの自分の振り返り、今日の学習で学んだこと、これからの自分の在り方などについて、自分が考えたことをワークシートに書くように伝える。</p> <p>㊦ 自己を見つめ、考え、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして意欲的な生き方を追求しようとする事について、自分の考えを深めることができたか。 (ワークシート・発表)</p> <p>・体験をもとに長所を伸ばすことが人生にどのように役立ったかを話し、意欲が高まるようにする。</p>

㊦は評価

㊦は言語活動の充実への手立て

7 他の教育活動との関連

